

平成 21 年度 NGO ディプロマコース 1 学期 募集要項

2009. 4. 7

NGO の基礎理論

—21世紀のパートナーシップを目指して—

目的

本コース1学期は、国際協力 NGO の全体像をつかむこと、その上で現在の NGO 活動を位置づけることを目的とし、世界と日本の国際協力 NGO の歴史やパートナーシップ論を学びます。本学期を通じて、国際協力 NGO の取り組みを理論で裏付けするとともに客観的に検証する機会を提供します。

期間

2009 年 5 月 16 日(土)–8 月 1 日(土)

基礎科目 (36 時間) + 選択科目 A または B (各 2 日間)

研修会場

当財団研修室

最寄り駅: 九段下 (都営新宿線、東京メトロ東西線、半蔵門線)

募集人数

20 名程度


受講料

18,000 円 (基礎科目 15,000 円 + 選択科目 3,000 円)

修了条件

- ① 基礎科目 36 時間のうち、30 時間以上の出席
- ② 選択科目 A または B いずれかの出席
- ③ 課題の提出とその合格


*①–③を全て満たした方に、1 学期の修了証書を授与いたします。



コース
ディレクター

友松 篤信氏：宇都宮大学 国際学部 教授

国際協力 NGO を研究課題とし、学生と共に世界各地の開発系 NGO について調査した「国際開発ハンドブック」(明石書店)を刊行。専門は、国際開発協力論と農業開発。



各テーマの
講師


講師陣は、国際協力 NGO の歴史や活動に詳しい学識関係者、NGO 関係者を予定しています。

4月末に決定いたします。



応募要件

国際協力 NGO で働いている方(スタッフ、インターン、ボランティア)、または将来働くことを希望する方。かつ、基礎科目の 30 時間以上と選択科目 A/B のいずれかに出席できる方。(現在 NGO で働いている方を優先します。)



申し込み

締切：4月29日(水)必着

応募用紙(Word文書)に必要事項をご記入の上、電子メールにてご応募ください。(応募用紙は、[当財団HPからワード文書でダウンロードできます。](#))申し込み受付後、3日以内(土日祝を除く)に当財団から応募確認のメールを折り返し送信いたします。確認メールが届かない場合は、下記担当者までお問合せください。締切後1週間以内にメールと郵送にて選考結果をお知らせします。



お問合せ先

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-6-17 千代田会館 5 階

(財)国際開発高等教育機構 事業部 松本/宮原

TEL:03-5226-0304 FAX:03-5226-0023

E-mail:ngo_diploma@fasid.or.jp

URL:<http://www.fasid.or.jp/kenshu/ngo/index.html>

1 学期の流れ： 5 月 16 日(土)～ 8 月 1 日(土)／講義等、 7 月末／課題提出

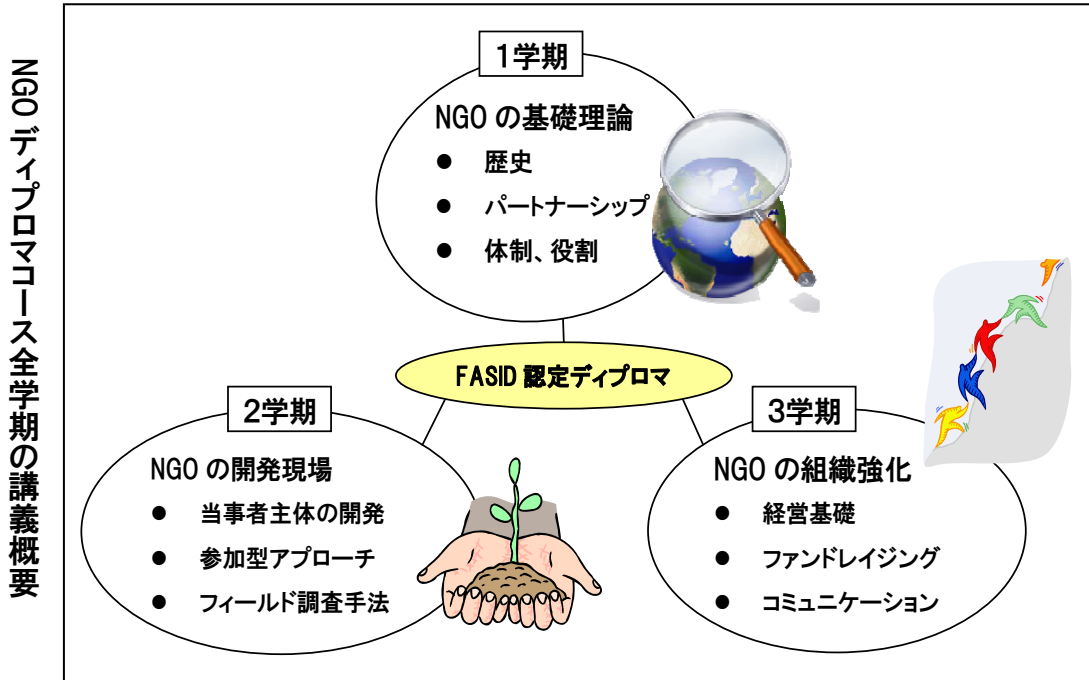
<p>5 月</p>	<p>基礎科目</p> <p>イントロダクション</p> <p>国際協力 NGO の歴史と 課題 I —海外の事例—</p>	<p>5 月 16 日(土) 13:30～16:45 国際協力 NGO やパートナーシップについての疑問を論点整理しながら考えます。 *所属団体の紹介資料(パンフレット等)をご持参ください。</p> <p>5 月 23 日(土) 9:30～16:45 国際 NGO はどのように発展してきたのか？北と南の国際 NGO の具体例を交えながら歴史や体制、その活動の特徴について学びます。</p>
<p>6 月</p>	<p>国際協力 NGO の歴史と 課題 II —日本の事例—</p> <p>パートナーシップ論 I 市民／ローカル NGO</p> <p>パートナーシップ論 II 政府／企業</p>	<p>6 月 7 日(日) 9:30～16:45 日本の国際協力 NGO の歴史的展開を紹介し、受講者が所属する NGO を位置づける。また、今後どのような方向に進もうとしているのかを討議します。</p> <p>6 月 20 日(土) 9:30～16:45 さまざまな関係者がかかわる国際協力 NGO の活動をパートナーシップという視点で考察します。まずは身近な人々、そして途上国のローカル NGO とのパートナーシップ構築について考えます。</p> <p>6 月 27 日(土) 9:30～16:45 政府や企業と NGO が連携することによる可能性は为什么呢？これまでの取り組みや連携活動を通じた学びを紹介し、今後のさらなる連携に向けて課題や改善策を考察します。</p>
<p>7 月</p>	<p>パートナーシップ論 III アカウンタビリティ</p> <p>7 月末 課題提出</p>	<p>7 月 11 日(土) 9:30～16:45 パートナーシップを強化するために重要な要素のひとつとしてアカウンタビリティを取り上げます。午前はアカウンタビリティの概念、理論を学び、午後はさらなるアカウンタビリティ向上への NGO の取り組みを紹介します。</p> <p>選択科目 A: アドボカシー・キャンペーン 7 月 18 日(土)、7 月 19 日(日) 9:30～17:30 政策分析から政策提言、そして人々を巻き込む提言活動についてグループワークやディスカッションを交えて学びます。</p> <p>選択科目 B: アカウンタビリティ向上 7 月 25 日(土)、7 月 26 日(日) 9:30～17:30 所属団体のアカウンタビリティの現状を理解し、それぞれが抱える組織の課題を検証しながら、その改善に向けてアクションプランを作成します。</p>
<p>8 月</p>	<p>まとめ</p>	<p>8 月 1 日(土) 13:30～16:45 1 学期の学びを基にプレゼンテーションを行います。</p>

* 日時・テーマ等、一部変更される可能性があります。

参考：NGOディプロマコースについて(全学期)

NGO ディプロマコースが目指すもの

現役で活躍している NGO 職員、大学等で国際協力 NGO を専門的に研究する教授、中小の民間企業の関係者を講師陣とした包括的な研修を国内および海外にて一貫して行い、NGO の仕事に役立つ知識・理論・技能をバランスよくそなえた NGO スタッフの人材育成を応援します。



ディプロマ認定

基礎科目の 30 時間以上と選択科目 A・B のいずれかに出席し、提出課題が合格と認められれば、学期ごとに修了証書を授与いたします。さらに、すべての学期を3年間以内に修了した方にFASID 認定ディプロマを授与いたします。

なお、本コースはどの学期からも受講できますが、1学期から受講されることをお勧めします。

NGO ディプロマコース全学期の構成（平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月）

1学期 NGOの基礎理論			
平成21年4月～	5～8月	7月下旬	8月
募集	基礎・選択科目	課題提出	修了証書

2学期 NGOの開発現場			
7月～	9月～12月	12月	12月
募集	基礎・選択科目	課題	修了証書

3学期 NGOの組織強化			
10月～	12月～平成22年3月	3月	3月
募集	基礎・選択科目	課題	修了証書

FASID認定
ディプロマ授与

以上